

平成23年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	国立京都国際会館の整備・運営に係る PFI事業手法調査		担当部局	観光庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H24/H24		担当課室	観光地域振興部観光資源課 参事官(MICE担当)		課長 新垣 慶太 参事官 高見 牧人		
会計区分	一般会計		施策名	20 観光立国の推進				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	観光立国推進基本法第17条		関係する計画、 通知等	観光立国推進基本計画				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	国立京都国際会館について、民間の資金やノウハウ等を活用した低廉・良質なサービスの提供等を図るためPFI事業による整備・運営手法を検討することにより、国際会議等の誘致に係る日本の国際競争力強化に寄与すること。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	国立京都国際会館について、民間の資金やノウハウ等を活用した低廉・良質なサービスの提供等を図るためPFI事業による整備・運営手法を検討する。							
実施方法	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	84	
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	-	-	-	-		
	執行額	-	-	-	-	-		
	執行率(%)	-	-	-	-	-		
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年	21年	22年	目標値 (23年)	
	国際会議の開催件数		成果実績 件	241	246	集計中	252	
			達成度 %	96%	98%	-		
	アジアにおける我が国の主要な国際会議開催件数の順位		成果実績 位	2	2	集計中	1	
		達成度 %	-	-	-			
国際会議件数:UIA(Union of International Associations:国際団体連合)の定義によるもの 本目標を設定している観光立国推進基本計画は現在見直しの作業中であり、新たな目標が決まり次第更新する。								
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	PFI事業による整備・運営手法		活動実績 (当初見込み) 手法	-	-	-	-	
単位当たり コスト	84(百万円/手法)		算出根拠	平成24年度要求額をPFI事業による整備・運営手法の数で除した。 84百万円÷1手法=84百万円/手法				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	職員旅費		1					
	観光振興調査費		83					
	計			84				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、用途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>近隣アジア諸国は国が中心となって国際会議等の誘致・開催に係る施策に取り組んでおり、国家間競争が激化している。こうした状況に加え、我が国の厳しい国家財政状況の中、国際会議等の誘致に係る日本の国際競争力強化に寄与するため、民間の資金やノウハウを活用したPFI事業による整備・運営手法について検討する予算要求を行ったところである。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
	-	調査結果の実際の事業への活用など、効果的な施策として効率的に執行できるよう努めるべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			